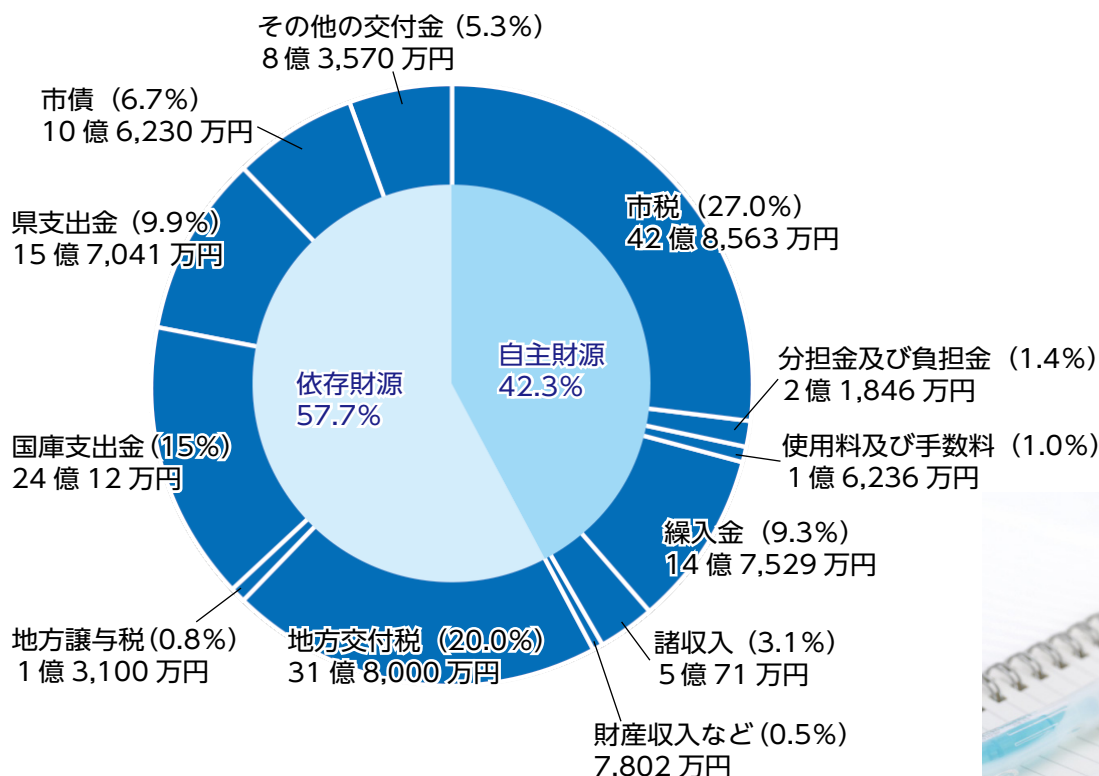


令和4年度 あわら市の 予算

問合せ
財政課 73・8008

一般会計歳入



一般会計当初予算規模 159億円

「暮らしやすくして
幸せを実感できるまち」
を目指して

令和4年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ159億円で、前年度と比較して5億8000万円、3・8%の増となりました。

この要因として、芦原温泉駅周辺整備事業、道の駅「蓮如の里あわら」整備事業における増額が挙げられます。

市の貯金

— 財政調整基金

市の貯金である財政調整基金は、令和3年度末で前年と比較して6億5200万円増の32億6600万円となる見込みです。令和4年度当初予算では、財源不足を補填するため、12億1000万円の取り崩しを計上しています。

市の借金

— 市債残高

市の借金である市債は、令和3年度末で約183億3700万円となる見込みです。令和4年度当初予算では、芦原温泉駅周辺整備事業などの費用に充てるため10億6230万円の借り入れを予定しています。令和4年度末では、前年と比較して約4億6700万円減の約178億7000万円となる見込みです。

各会計の当初予算額 (合計 229億6,701万円)

一般会計 159億円

市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計

特別会計 38億4,200万円

保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。

国民健康保険特別会計	29億8,820万円
後期高齢者医療特別会計	4億5,280万円
農業者労働災害共済特別会計	500万円
公共用地先行取得事業特別会計	3億9,600万円

企業会計 30億1,629万円

一般の会社と同じように、独自の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計

水道事業会計	9億3,535万円
公共下水道事業会計	20億8,094万円

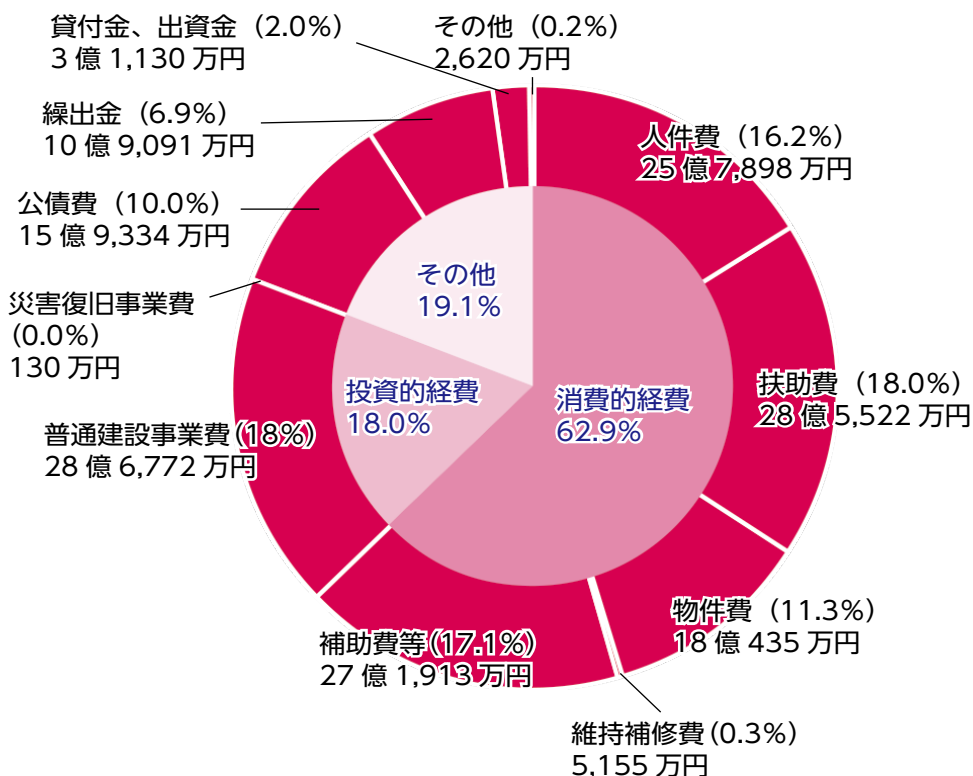
芦原温泉上水道財産区水道事業会計 2億872万円

芦原地区の特定区域（財産区）の水道事業を運営する会計

主な事業の予算額



一般会計歳出（性質別）



家計簿でチェック

令和4年度の当初予算 159 億円を分かりやすく
3,000 分の 1 に置き換えて家計簿にしました。



1 年間の収入合計 約 530 万円

基本給与 (市税)	142 万 8,545 円
諸手当 (分担金及び負担金)	7 万 2,820 円
副業収入 (使用料及び手数料)	5 万 4,120 円
預金の取り崩し (繰入金)	49 万 1,763 円
臨時収入など (寄付金、財産収入など)	19 万 2,909 円
親からの援助 (交付税、国県補助金など)	270 万 5,743 円
銀行からの借り入れ (市債)	35 万 4,100 円

貯金残高(財政調整基金) 68 万 5,334 円

借金残高(市債残高) 595 万 6,600 円

収入をみると、昨年より基本給与は増えているものの、収入の半分以上を親からの仕送りに頼り、銀行からの借り入れも毎年行っています。今後は、親からの仕送りや借り入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努め、支出を抑えていく必要があります。

1 年間の支出合計 約 530 万円

食費 (人件費)	85 万 9,661 円
医療費 (扶助費)	95 万 1,740 円
光熱水費、消耗品費など (物件費)	60 万 1,449 円
子どもへの仕送りなど (補助費等)	90 万 6,378 円
家や車などの修繕費 (維持補修費)	1 万 7,183 円
家などの増改築 (普通建設事業費)	95 万 5,906 円
借金返済 (公債費)	53 万 1,115 円
貯金 (積立金)	5,399 円
その他 (予備費、貸付金、繰出金など)	47 万 1,169 円

支出では、食費や医療費、借金返済などの節約が難しい経費が半分近くを占めています。

これまで、食費や光熱水費、消耗品費などを切り詰めてやりくりしてきましたが、今後もより一層の努力が必要です。